



活ヤリイカ釣り、真剣です。

4月29日(土)、道の駅こどもり駐車場で、ヤリイカ味覚まつりが開催され、県内外から、当初の応募を超える多数の参加があり盛大に開催されました。

当日は天候に恵まれ、活ヤリイカ刺しや塩辛づくり、クイズ大会やビンゴ大会、海産物の競り市が行われ、会場は活気にあふれていました。



うまく切れるかな?活ヤリイカ刺し作り。



お昼ご飯おいしかった。



こんなに上手にできたよ。



威勢のいい掛け声で行われた競り市。新鮮な、海の幸が満載。



なかどまりヤリイカ味覚まつり大盛況

中泊町消防団 観閲式

5月4日、マリナーパーク前漁港施設用地において、平成18年度中泊町消防団観閲式が開催されました。観閲式には活動服に身を包んだ町内13分団約200名の消防団員と22台の消防車両に加え、田茂木婦人防火クラブ、小泊婦人防火クラブが参加しました。



分列行進(車両)



姿勢の整った分列行進



玉落とし競技

観閲者の小野町長や大勢の来賓が見守るなか、人員姿勢服装点検、機械器具点検、分列行進、玉落とし競技、婦人防火クラブによる消火訓練などが行われ、日ごろの訓練の成果を披露していました。続いて退職団員・優良団員への表彰、観閲者の講評、来賓祝辞が行われ、最後に今年の観閲式の無事成功を祝い、また無火災を祈念するため参加者全員で万歳三唱をして観閲式を終えました。

◇玉落とし競技(可搬式ポンプ)

- 優勝 第9分団(下高根)
- 準優勝 第6分団(竹田)
- 第3位 該当なし

◇玉落とし競技(自動車ポンプ)

- 優勝 第3分団(大沢内)
- 準優勝 第10分団(今泉)
- 第3位 第2分団(派立)

◇優良分団

- 優勝 第9分団(下高根、薄市)
- 準優勝 第10分団(今泉)
- 第3位 第7分団(豊岡、福浦)

◎感謝状授与(退職団員)

- 元小泊地区団長 柏崎 幹夫 (在職期間44年3月)
- 元本団附分団長 佐藤 誠一 (26年11月)
- 元第6分団長 田中 力雄 (23年3月)

◎平成18年度優良消防団員表彰

- 第1分団 班長 加藤有吾
- 第2分団 班長 兵庫稔
- 第3分団 団員 大川敏広
- 第4分団 団員 佐々木通
- 第5分団 団員 葛西幸一
- 第6分団 団員 長利高延
- 第7分団 団員 塚本貴人
- 第8分団 団員 小野憲之
- 第9分団 団員 小野憲康
- 第10分団 団員 川島隆彦
- 第11分団 団員 大西勉
- 第12分団 団員 藤田文寿
- 第13分団 部長 藪田俊博

◎平成17年度消防功労表彰

- ・消防庁長官表彰
 - 永年勤続功労章 副団長 長利 等
- ・日本消防協会長表彰
 - 功績章 副団長 成田勝蔵
 - 精績章 副団長 磯野 久
 - 勤続章 副分団長 奈良金仁
- ・青森県知事表彰
 - 功労章 副団長 瓜田 篤
 - 永年勤続功労章 副分団長 大澤勝則
- ・青森県消防協会長表彰
 - 有功章 副団長 成田 誠
 - 勤功章 分団長 成田正信
 - 分団長 藪田俊博
 - 団員 荒閑博由
 - 団員 磯野隆広
 - 団員 角田多喜雄
 - 団員 赤石英人
- ・県消防協会北五支部長表彰
 - 副分団長 横山邦彦
 - 副分団長 外崎幸盛
 - 副分団長 齋藤直樹
 - 副分団長 田中忠一
 - 副分団長 山本重蔵
 - 班長 荒閑敏行
 - 班長 長谷川智久
 - 班長 和田信之

永坂さん親子に表彰状

4月27日、漁業永坂直久さん・章さん(下前上)親子2人に人命救助で第二管区海上保安本部長が表彰の伝達を行いました。1月31日午前、小泊南灯台から西南西21kmで男性1人乗りの漁船が火災を起し、救助の無縁を傍受するやいなや、現場に急行し船首一部を残し炎上中の船で救助を求める男性を発見し、火災船に接舷し男性を自船に救助しました。



第10回日韓スポーツ 交流事業 全国国民体育大祝典 で金メダル

4月15日・16日に韓国の全羅南道(チヨルナムド)麗水市で行われた、2006年全国国民体育大祝典に日本代表で参加した、木村莊三さん(上高根)が、砲丸投競技で、金メダルを獲得しました。

左膝のケガに見舞われたにもかかわらず、優勝した木村さんは、「体調は万全でなく、不安だったが、優勝できてよかった。来年は、青森県でこの大会が開催されるので、来年も優勝したい。」と抱負を語ってくれました。



小泊小女子バレーボール部 県大会3位入賞



4月29日、八戸市東体育館で開催された、第9回ABA杯青森県小学生バレーボール選手権大会で、小泊小学校女子バレーボール部が第3位に入賞しました。県大会では、各地区で予選を勝ち抜いた12チームが予選を行い、2勝して決勝リーグに勝ち上がりました。

決勝リーグは準決勝からの戦いとなり、セットカウント0対2で残念ながら負け、決勝戦進出を逃しました。バレー部には、今年、5年生3人・4年生3人の新人が入部し、合計13人の選手で構成されました。今後の大会の上位入賞を目指して、更なる活躍が期待されます。

打越くん全国 大会出場決定

第22回わんぱく相撲西北五つがる地区大会が5月14日につがる市森田「地球村スポーツパーク相撲場」で行われ、4年生の部で中里小学校の打越奎也君(中泊道場)が優勝しました。中泊町からは、この大会への全国大会出場は初であり、打越君は「稽古どおりの相撲で気合いを入れ、必ず優勝して横綱になって帰って来たいです。」と抱負を語ってくれました。また、監督の小山内誠さんは、「全国で頂点へ立つという同じ夢を持ち今まで頑張ってきました。力と気持ちは十分に身に付いたと確信しています。共に頂点を目指し頑張ります。」と語ってくれました。

全国大会は7月30日に東京両国国技館で行われ、全国の小学生の横綱が決まる大会ということなので、がんばってほしいです。



小泊で中学生が 網おこし体験

5月18日(木)小泊観光協会(会長川山光則)が、小泊中学校の生徒22名を招き、体験学習の一環として網おこし体験を行いました。

当日は、好天に恵まれ、参加した生徒たちが、指導を受けながら、網をおこしていました。

魚が見えてくると、生徒からは「おおすげー」と歓声が上がりました。ホッケやヤリイカ、タナゴなどが獲れました。



ホタルの里づくり 幼虫を放流

5月19日、ホタルの会(会長荒関壽久)及び中里小学校の5年生50名が滝ノ沢ふるさと砂防愛ランドのせせらぎ水路に、ゲンジボタルとヘイケボタルの幼虫計1000匹を放流しました。

今年で三回目の今回も児童が自分たちで、ふ化させ、育てた幼虫を放流していました。児童の一人は、「早く大きくなつてほしい。成虫になったのを早く見に来たい」と話していました。

ホタルの会によると、ホタルの生息数は、県内一というところで、今後七月中旬には、ホタルにちなんだイベントを開催したいと張り切っていました。ホタルの見頃は、6月末から8月いっぱいとのことでしたので、ぜひ足を運んでみてください。



かわいい節句人形 ありがとう

4月27日、小泊小学校2年生全員に、読み聞かせサークル「ほっとけーき」から、手づくりの節句人形がプレゼントされました。

この人形は、会員の龍野恵子さんを中心に一針一針子どもの健やかな成長を願って作られたもので、古い着物をリサイクルして使っているそうです。

プレゼントする機会を伺っていたところ、ちょうど参観日があるということで、小泊小児童保護者でもある荒関万里子さんが会を代表し、一人一人に人形を手渡しました。

人形を手にした子どもたちは、「かわいいね。ありがとう。」と大喜びしていました。



各地区で 清掃ボランティア活動

4月中頃から、各地区で、清掃ボランティアが、行われています。

4月15日の福浦老人クラブを皮切りに、同月29日には、小泊観光協会が折腰内、ビーチ及び竜泊ラインをまた、天理教の各支部やみちのくサウンドが各地区を、5月12日には、中里小学校児童が、学校付近や中里駅前周辺のゴミを拾っていました。また、5月27日には大和山金木教区においても砂防愛ランドのゴミ拾いを行いました。

